

### 3. 後志地域の特性・現状

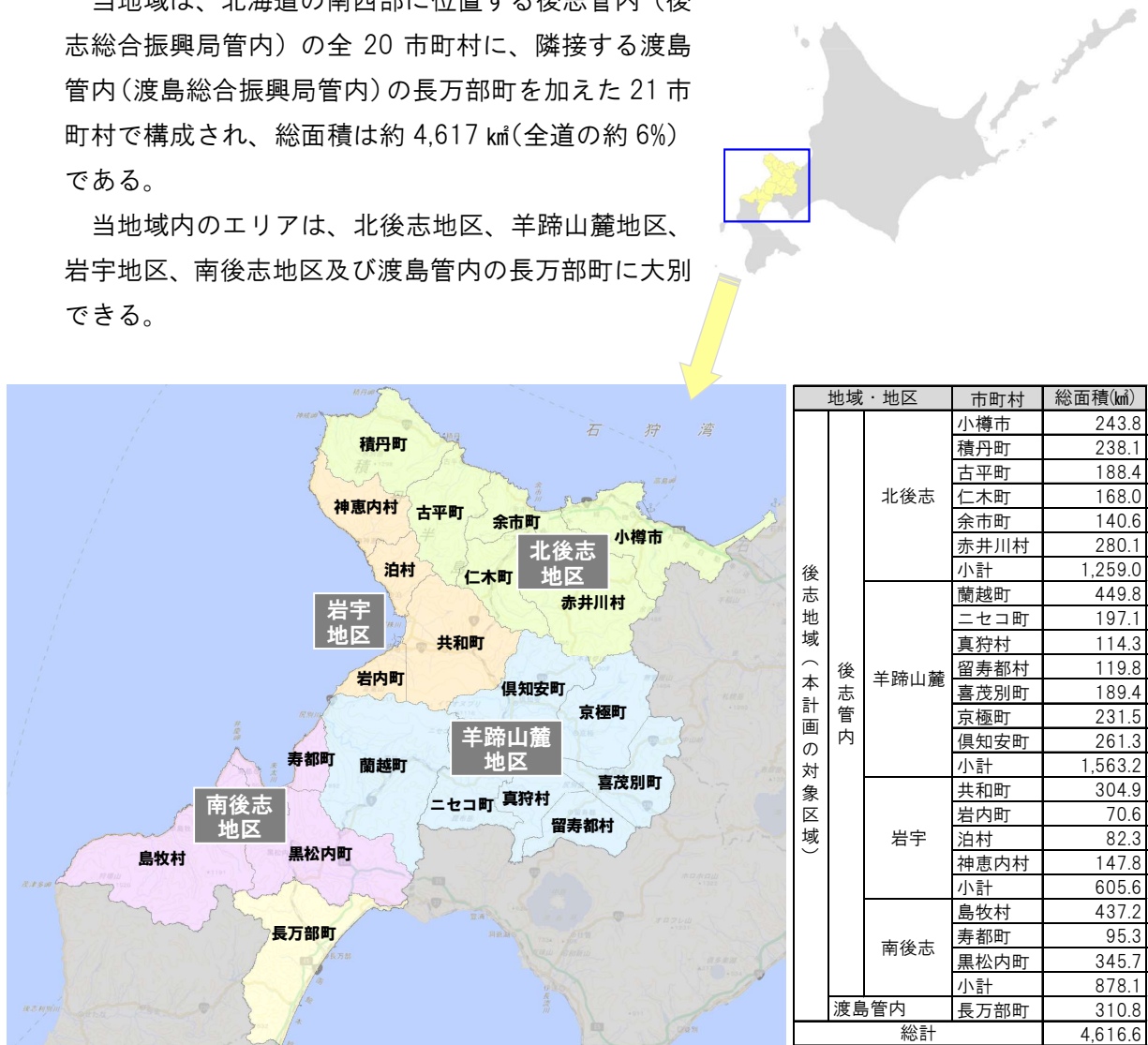
#### 3.1 地形・地勢

後志地域の位置・面積や標高、土地利用状況は以下のとおりである。

##### (1) 位置・面積

当地域は、北海道の南西部に位置する後志管内（後志総合振興局管内）の全 20 市町村に、隣接する渡島管内（渡島総合振興局管内）の長万部町を加えた 21 市町村で構成され、総面積は約 4,617 km<sup>2</sup>（全道の約 6%）である。

当地域内のエリアは、北後志地区、羊蹄山麓地区、岩宇地区、南後志地区及び渡島管内の長万部町に大別できる。

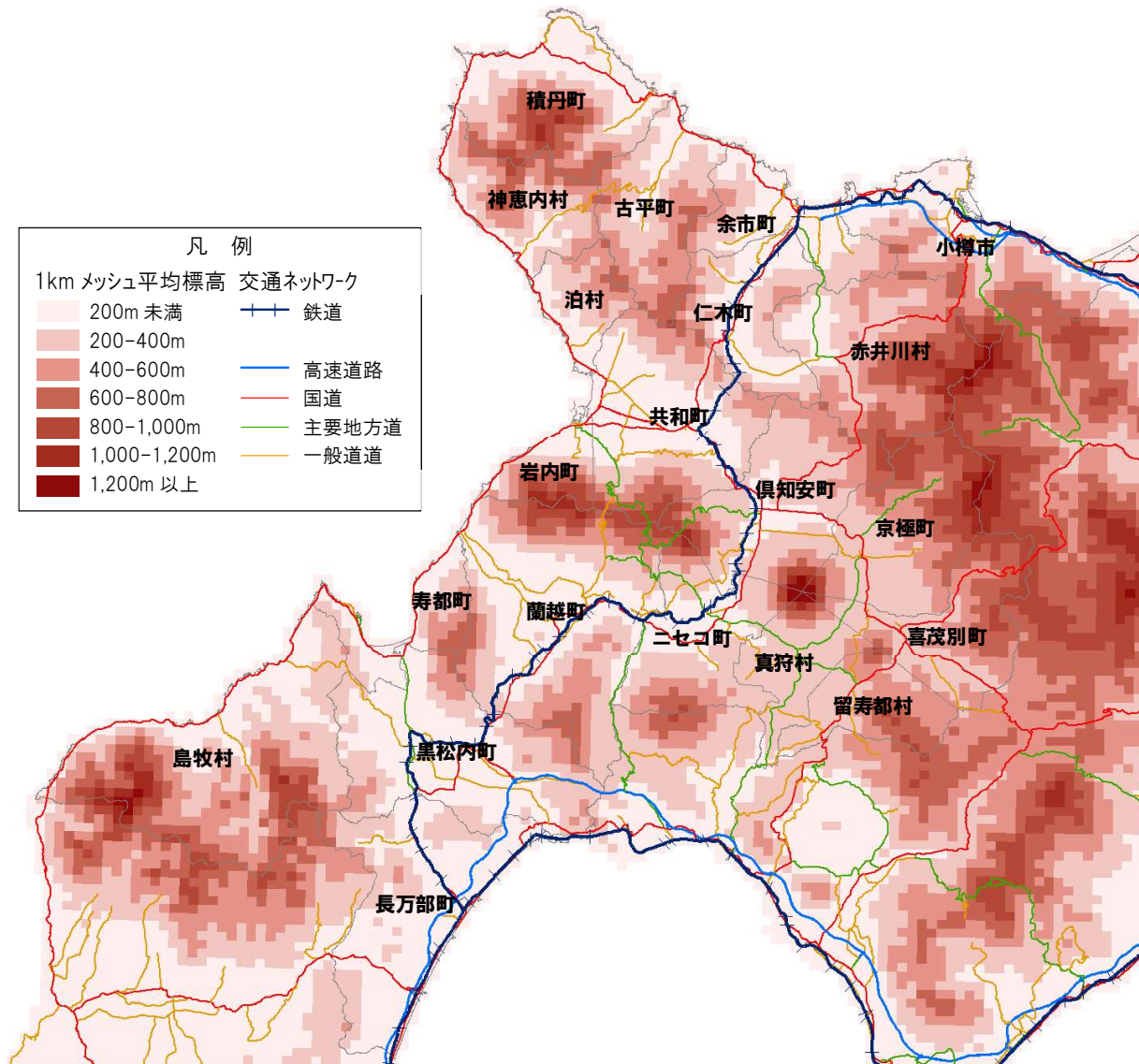


資料：全国都道府県市区町村別面積調（国土地理院、令和 3 年 10 月 1 日時点）

図 3-1 後志地域の位置・面積

## (2) 標高

当地域の地形は、海岸線や余市町～仁木町、岩内町～共和町、蘭越町、黒松内町、長万部町に低地部（標高 400m 以下）の区域が広がっており、それらの区域に鉄道や幹線道路（国道 5 号・276 号等）が整備されている。



資料：国土数値情報（標高・傾斜度 3 次メッシュ）

図 3-2 後志地域の標高



## 3.2 人口分布・推移

### (1) 全人口の分布・推移

当地域の総人口 21 万人（2020（令和 2）年）のうち、中核都市群の小樽市に約 11 万人、地域中心都市の倶知安町、岩内町及び余市町に計約 5 万人が集中し、残りの 16 町村に約 5 万人が広く分布している。

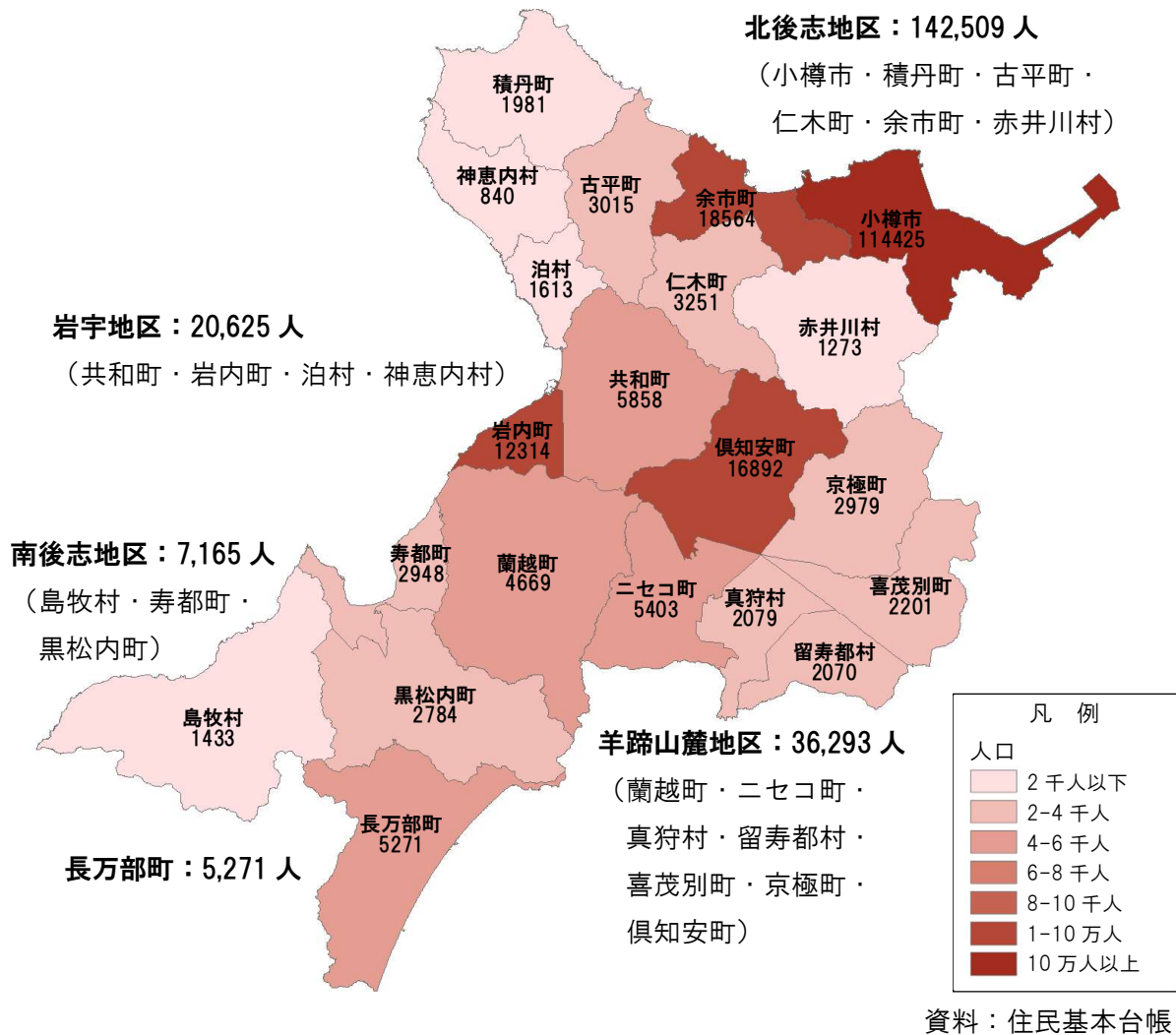


図 3-4 地域・市町村毎の人口【2020（令和 2）年】



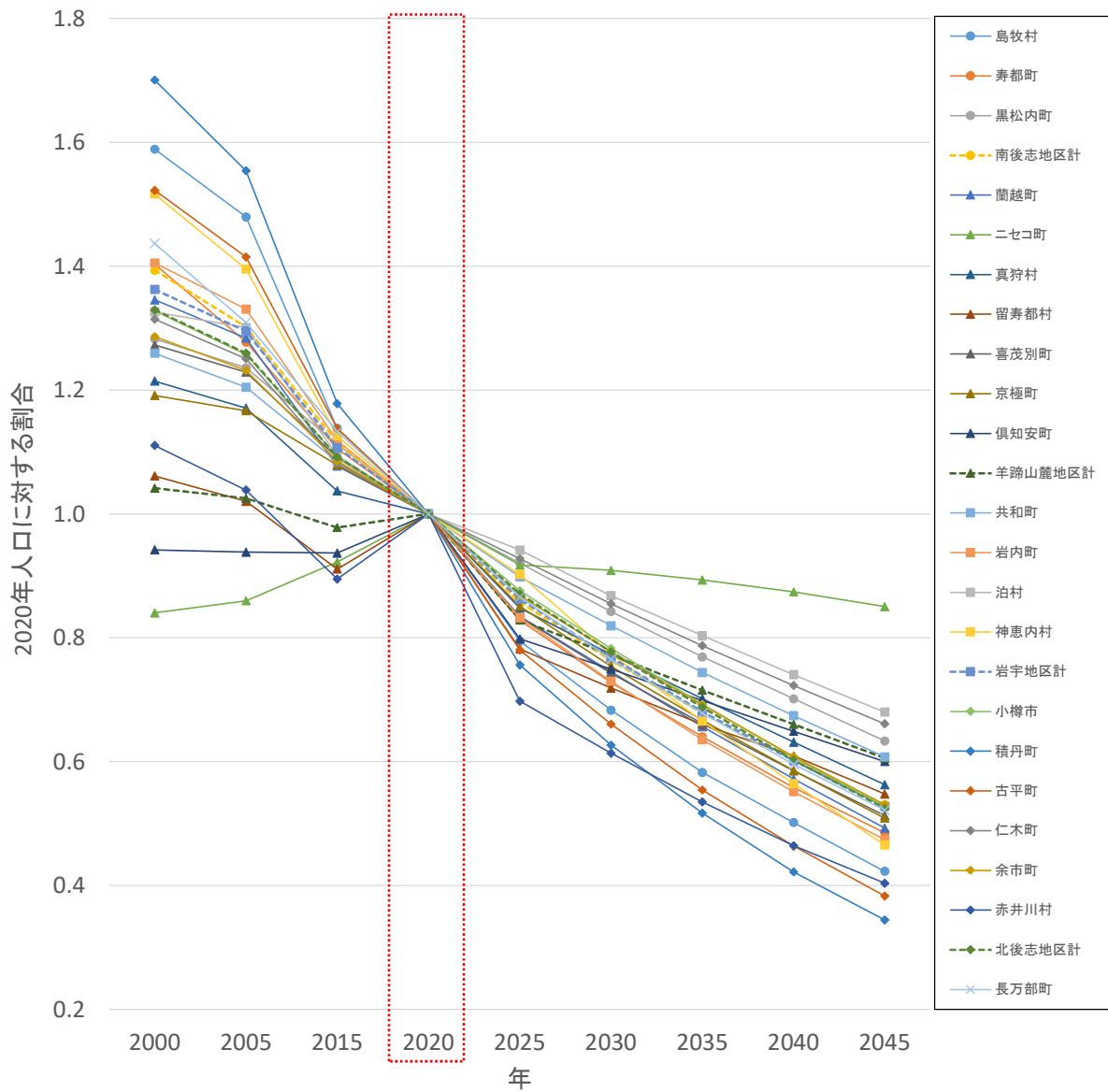
500m メッシュ人口を見ると、当地域の人口 21 万人（2020（令和 2）年）のうちの約 11 万人が集中する小樽市に人口 1,000 人超過のエリア（500m メッシュ）があり、地域中心都市の倶知安町、岩内町及び余市町には人口 500 人超過のエリアがある。その他の 16 町村は、人口 300 人超過や 100 人超過のエリアが僅かにあるが、主に人口 100 人以下のエリアが幹線道路沿いに広く分布している。



資料：国土数値情報（500m メッシュ別将来推計人口、2018（平成 30）年国政局推計）

図 3-5 人口分布（500m メッシュ人口）【2020（令和 2）年】

20 年前の人口と比較すると、ニセコ町及び倶知安町以外は人口が減少しており、将来は、ニセコ町及び倶知安町を含めた全市町村で減少し続ける予測になっている。



資料：2000（平成 12）～2020（令和 2）年人口：住民基本台帳

2025（令和 7）～2045（令和 17）年人口：

将来の地域別男女 5 歳階級別人口（国立社会保障・人口問題研究所）

図 3-6 地域・市町村毎の人口推移【2000（平成 12）年～2045（令和 17）年、2020（令和 2）年人口に対する割合】

## (2) 高齢者人口の分布・推移

各市町村の高齢化率（65歳人口の割合）は、比較的低いニセコ町、留寿都村、倶知安町及び赤井川村（スノーリゾートがある町村）でも22%以上になり、後志地域の全市町村が超高齢社会（高齢化率21%超過）に達している。

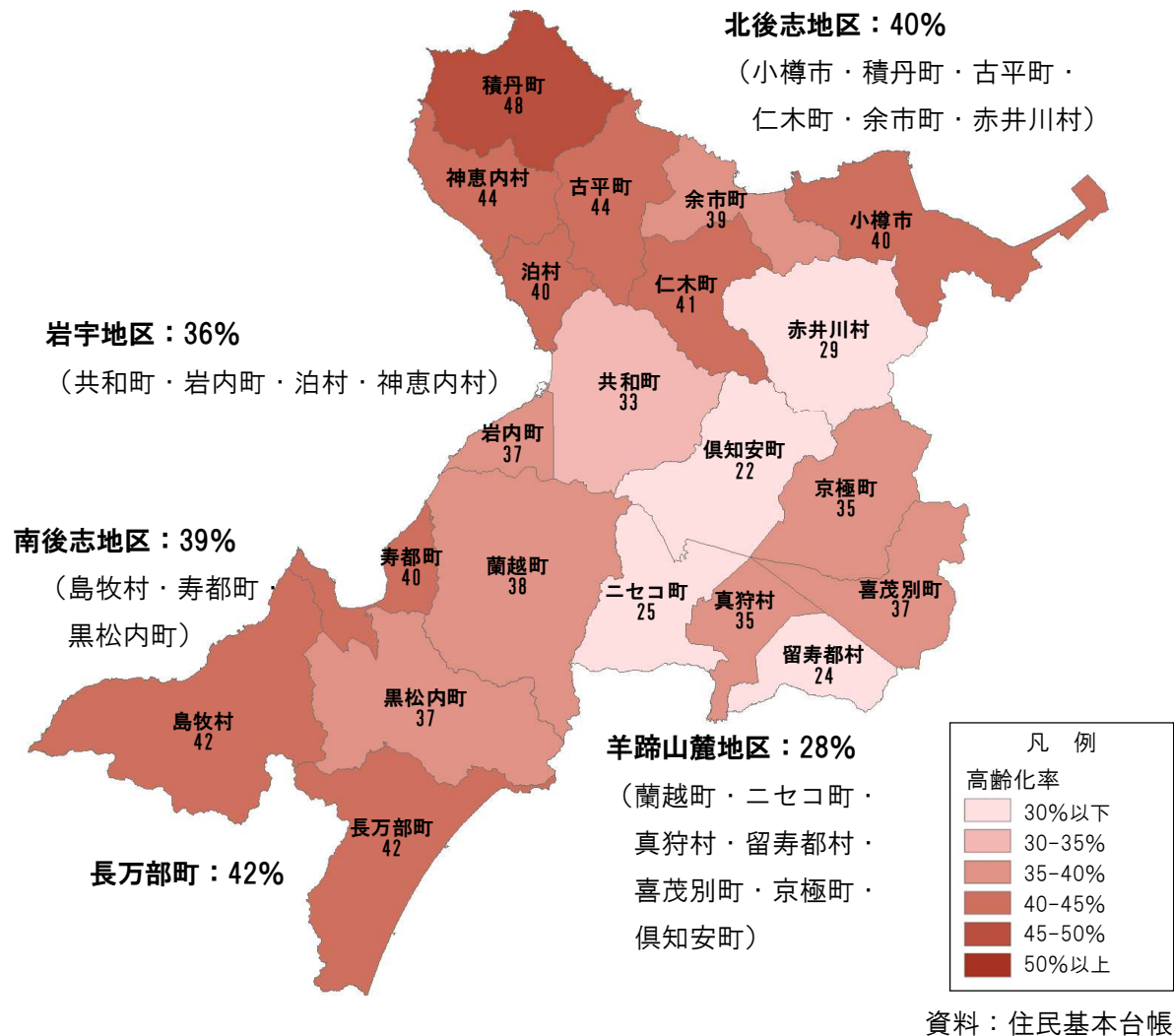
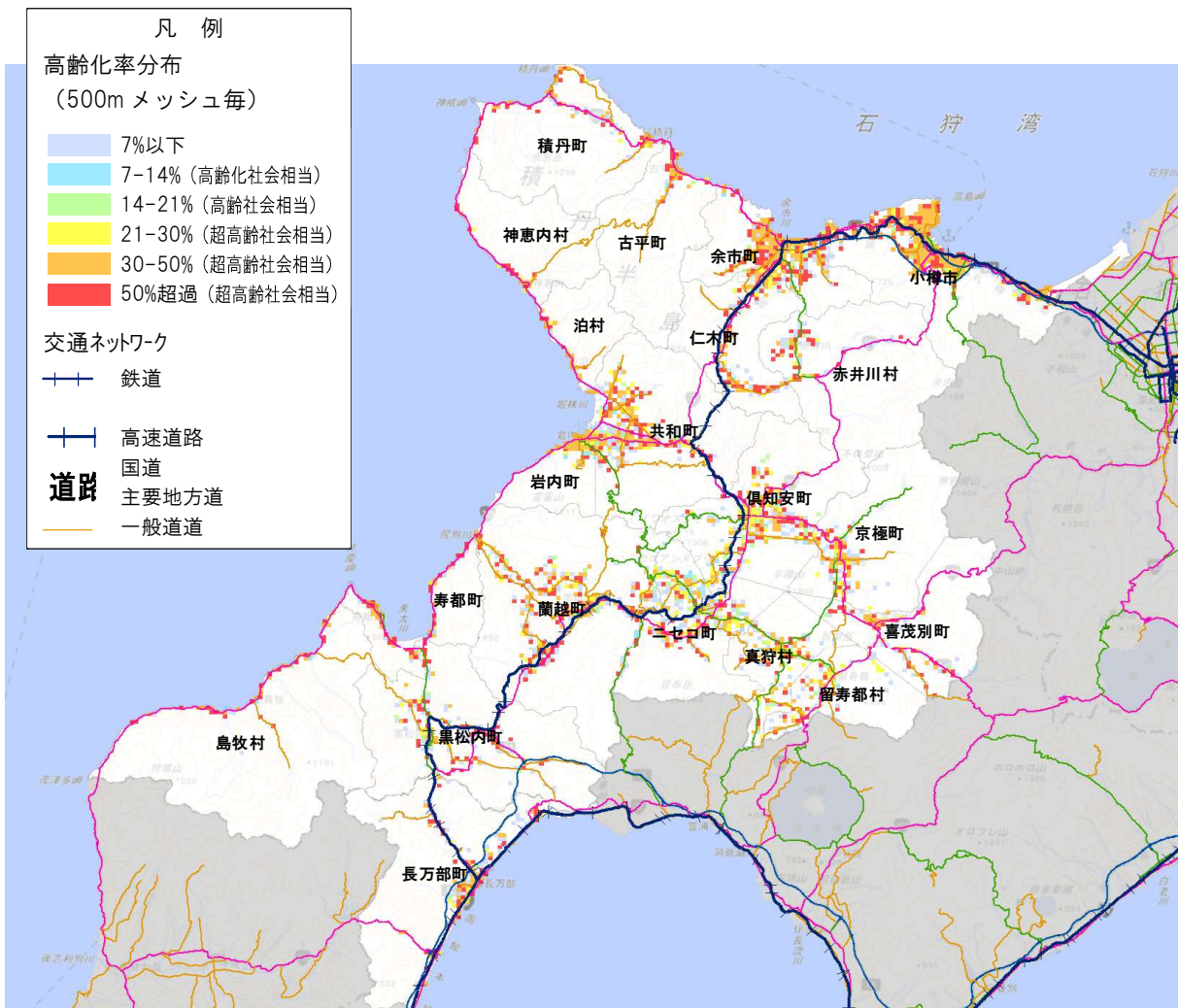


図 3-7 地域・市町村毎の高齢化率【2020（令和2）年】

500m メッシュ毎の高齢化率の分布を見ると、比較的、ニセコ町や岩内町に高齢化率 7%以下のエリア（500m メッシュ）が多い。また、倶知安町等の羊蹄山麓エリアで 30%以下のエリアが多い傾向がある。それ以外は、小樽市や余市町の市街部等、全体的に 30～50%のエリアが多く、50%以上のエリアは、郊外部を中心に分散して存在している。

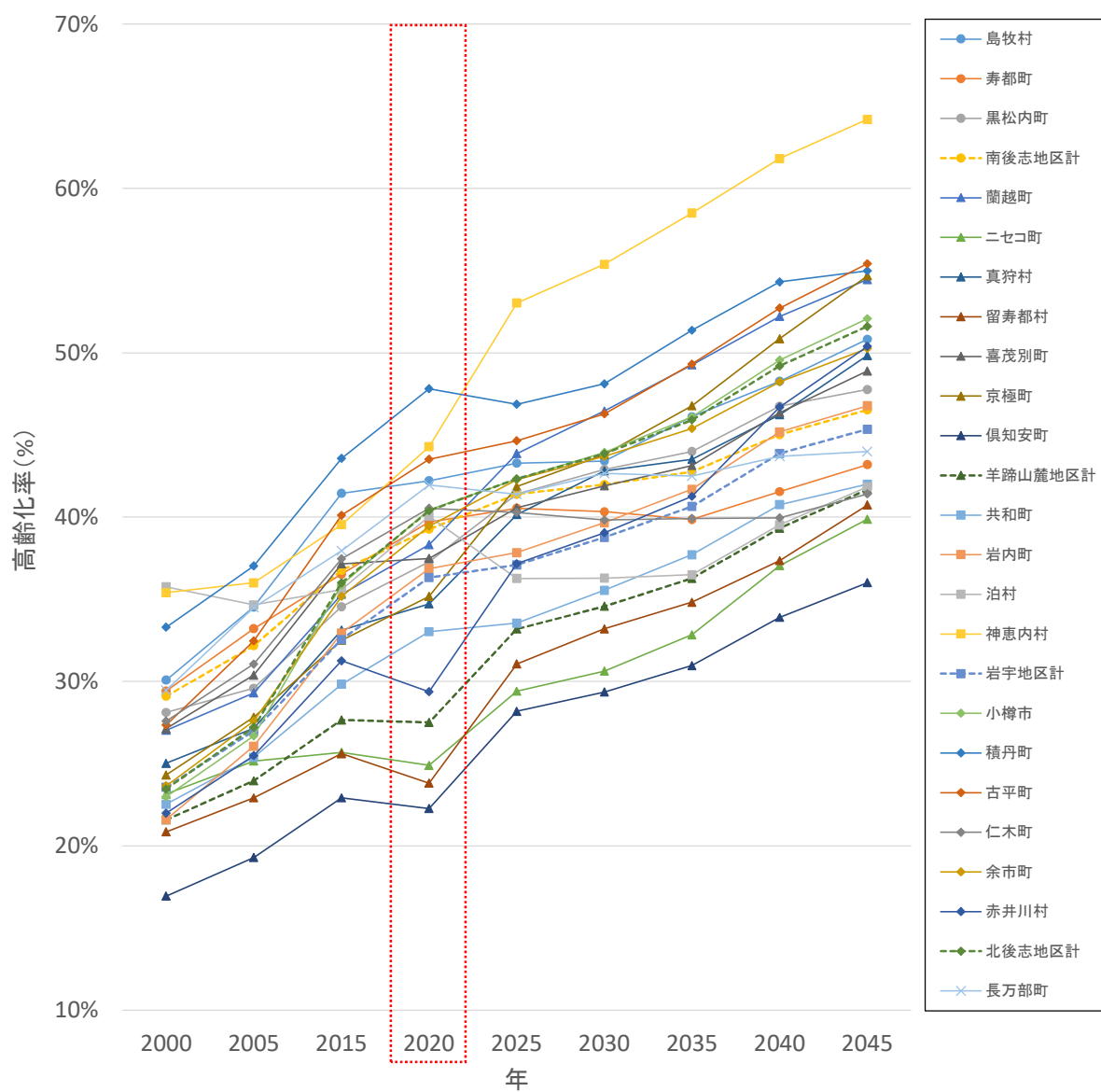


資料：国土数値情報（500m メッシュ別将来推計人口、2018（平成 30）年国政局推計）

図 3-8 高齢化率分布（500m メッシュ毎の高齢化率）【2020（令和 2）年】



各市町村の高齢化率は、ほぼ全ての市町村において、2020（令和2）年まで増加傾向で推移しており、今後も、高齢化率の増加が続くことが予測されている。



資料：2000（平成12）～2020（令和2）年人口：住民基本台帳

2025（令和7）～2045（令和17）年人口：

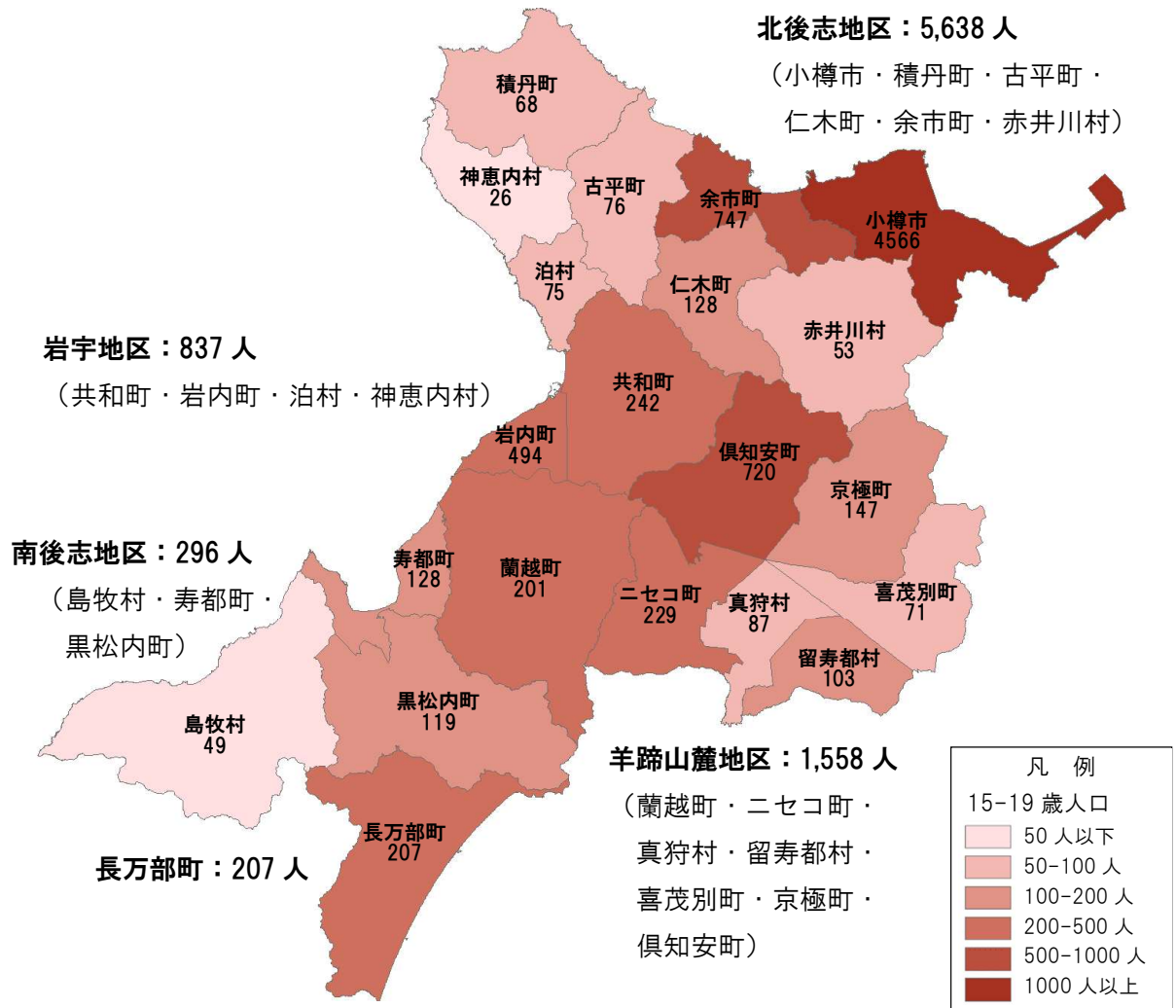
将来の地域別男女5歳階級別人口（国立社会保障・人口問題研究所）

図 3-9 地域・市町村毎の高齢化率の推移【2000（平成12）年～2045（令和17）年】

### (3) 15-19 歳人口の分布・推移

高校生を含む 15-19 歳人口についても、全人口と同様、中核都市群の小樽市が最も多く、次いで、地域中心都市の倶知安町、岩内町及び余市町が多くなっている。

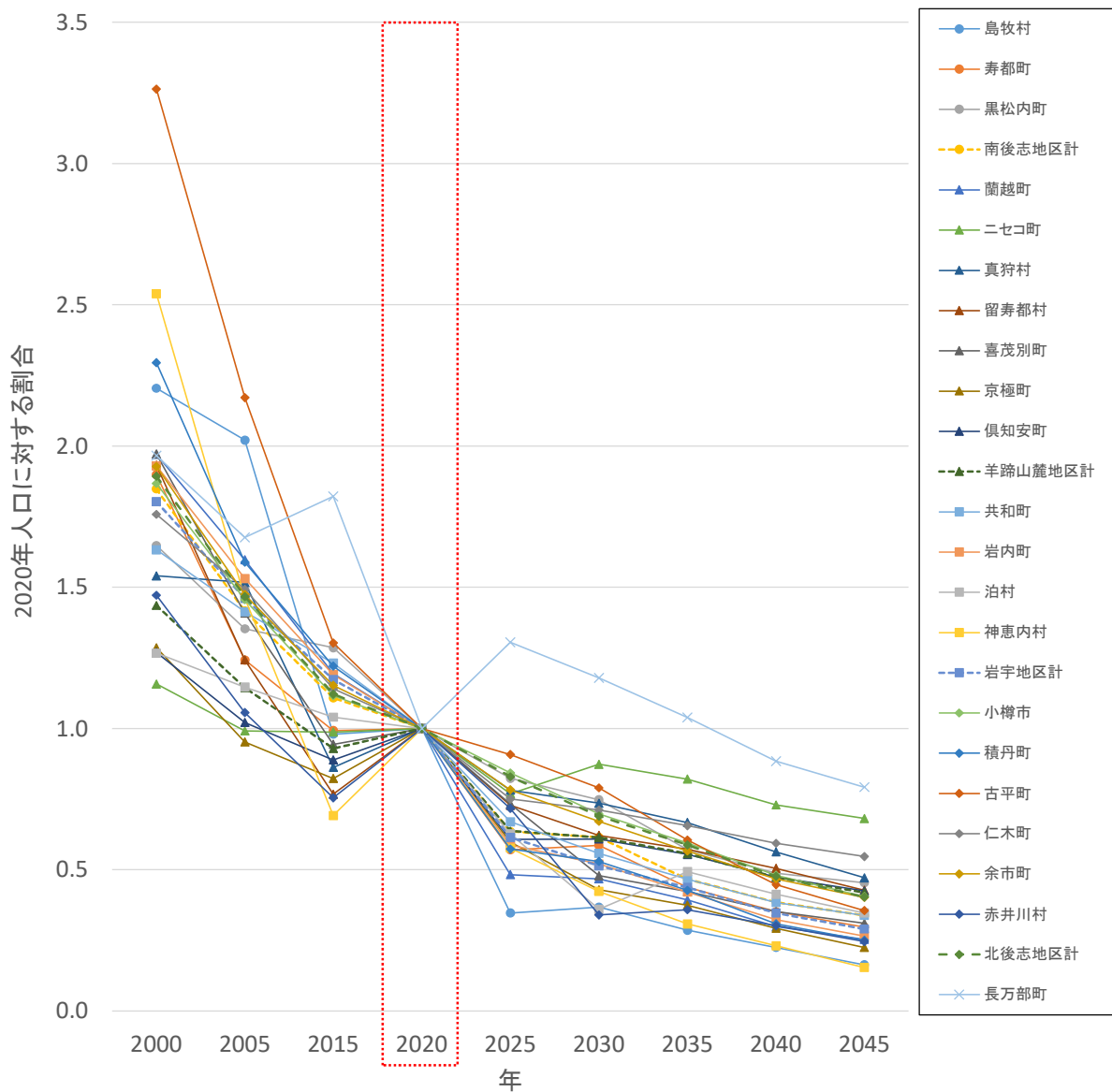
ただし、いずれの市町村においても、全人口に占める 15-19 歳人口の割合は 3~5%であり、少子高齢化が進展している。



資料：住民基本台帳

図 3-10 地域・市町村毎の 15-19 歳人口【2020 (令和 2) 年】

15-19 歳人口の推移を見ると、いずれの市町村においても、2020（令和 2）年まで減少傾向で推移しており、今後も減少が続くことが予測されている（長万部町のみ一旦増加するが、2040（令和 22）年以降は 2020（令和 2）年を下回る予測）。



資料：2000（平成 12）～2020（令和 2）年人口：住民基本台帳

2025（令和 7）～2045（令和 17）年人口：

将来の地域別男女 5 歳階級別人口（国立社会保障・人口問題研究所）

図 3-11 地域・市町村毎の 15-19 歳人口推移【2000（平成 12）年～2045（令和 17）年、2020（令和 2）年人口に対する割合】